

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第64期第2四半期(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)
【会社名】	株式会社エクセディ
【英訳名】	EXEDY Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 清水 春生
【本店の所在の場所】	大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号
【電話番号】	(072)822-1152
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 管理本部長 豊原 浩
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区岩本町2丁目17番2号エクセディ商事ビル
【電話番号】	(03)3862-2771(代表)
【事務連絡者氏名】	東京営業所長 山邊 慎也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第2四半期連結 累計期間	第64期 第2四半期連結 累計期間	第63期
会計期間	平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高(百万円)	102,206	113,198	202,236
経常利益(百万円)	7,514	10,046	16,326
四半期(当期)純利益(百万円)	4,422	5,710	9,722
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,752	12,932	16,622
純資産額(百万円)	125,417	146,412	135,710
総資産額(百万円)	177,365	212,892	196,375
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	91.83	118.97	201.95
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	66.5	64.4	64.6
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	7,770	14,150	19,403
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	9,597	10,813	22,113
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	842	144	377
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	25,031	29,694	25,593

回次	第63期 第2四半期連結 会計期間	第64期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	平成24年7月1日から 平成24年9月30日まで	平成25年7月1日から 平成25年9月30日まで
1株当たり四半期純利益金額 (円)	45.01	62.92

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内の受注減少はみられるものの、円安効果や新拠点の販売開始により、売上高は増加しております。利益面におきましては、円安効果やコスト低減活動を進めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 1,131億円（前年同期比 10.8%増）、営業利益 93億円（前年同期比 18.7%増）、経常利益 100億円（前年同期比 33.7%増）、四半期純利益 57億円（前年同期比 29.1%増）となりました。

報告セグメント別の概況は下記のとおりであります。

〔MT（手動変速装置関連事業）〕

国内自動車メーカーからの受注減少はあるものの、円安効果及び堅調なアセアンと中国の受注増加により、売上高は 334億円（前年同期比 12.3%増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加により 47億円（前年同期比 7.5%増）となりました。

〔AT（自動変速装置関連事業）〕

円安効果及び新拠点の販売開始により、売上高は 674億円（前年同期比 9.9%増）となりました。セグメント利益は、売上高の増加及びコスト低減活動により 53億円（前年同期比 58.9%増）となりました。

〔その他〕

国内の産業機械用製品の受注減少はあるものの、円安効果及び新拠点の販売開始により、売上高は 122億円（前年同期比 11.3%増）となりました。セグメント損失は、国内の産業機械用製品の受注減少及び新拠点立上げ費用の発生により 1億円（前年同期は 6億円のセグメント利益）となりました。

所在地別の概況は下記のとおりであります。

〔日本〕

自動車メーカー及びトランスミッションメーカーの受注減少により、売上高は 638億円（前年同期比 0.9%減）となりました。営業利益は、円安効果及びコスト低減活動により 69億円（前年同期比 55.9%増）となりました。

〔米国〕

円安効果及び新拠点の販売開始により、売上高は 213億円（前年同期比 35.6%増）となりました。営業利益は、売上高の増加により 7億円（前年同期比 3.6%増）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

円安効果により、売上高は 257億円（前年同期比 27.1%増）となりました。営業利益は、労務人件費等固定費の増加及び新拠点立上げ費用の発生により 20億円（前年同期比 19.7%減）となりました。

〔その他〕

売上高は 21億円（前年同期比 28.2%増）となりました。営業利益は 56百万円（前年同期比 47.2%減）となりました。

(2) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,128億円となり、前連結会計年度末に比べ165億円増加いたしました。主な内容は、有形固定資産の増加85億円、現金及び預金の増加41億円、受取手形及び売掛金の増加19億円であります。負債は664億円となり、前連結会計年度末に比べ58億円増加いたしました。主な内容は、借入金の増加31億円、支払手形及び買掛金の増加31億円であります。純資産は1,464億円となり、107億円増加いたしました。主な内容は、利益剰余金の増加45億円(四半期純利益による増加57億円、剰余金の処分(配当金)による減少11億円)、為替換算調整勘定の変動による増加53億円、少数株主持分の増加5億円であります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.6%から64.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は296億円(前年同四半期末残高250億円)であり、前年同四半期末に比べ46億円の資金増となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローで獲得した資金は、税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産の減少、仕入債務の増加等により、前第2四半期連結累計期間と比較して63億円増加し、141億円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、無形固定資産の取得による支出が増加したこと等により、前第2四半期連結累計期間と比較して12億円増加し、108億円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は、借入金による調達が増加したこと等により、前第2四半期連結累計期間と比較して6億円減少し、1億円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の総額は、2,143百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社グループの運転資金及び設備投資資金は、主として自己資金により充当し、必要に応じて借入による資金調達を実施することを基本方針としています。

当第2四半期連結累計期間における設備投資等の資金については、主として自己資金により充当しました。

今後の資金需要の主なものは、環境性能の高い新製品の開発投資やさらなるグローバル化に対応するための海外投資等であります。これらの資金需要に対しては、主に自己資金で充当する予定ではありますが、資金の不足時に備え、直接金融においては格付機関による企業格付の向上を図ること、また、間接金融では金融機関との関係を強化することにより有利な調達条件の維持に努め、負債と資本のバランスに配慮しつつ、適切で柔軟な資金調達体制を構築してまいります。

従い、当社グループは、その健全な財務状態、営業活動によるキャッシュ・フローを生み出す能力、当社グループの成長を維持するために将来必要な運転資金及び設備投資資金を調達することが可能と考えております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	168,000,000
計	168,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通 株式	48,593,736	48,593,736	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	48,593,736	48,593,736	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	48,593	-	8,284	-	7,540

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する所有株式 数の割合 (%)
アイシン精機株式会社	愛知県刈谷市朝日町2丁目1	7,230	14.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-11	4,612	9.49
アイシンホールディングスオブアメリカ (常任代理人株式会社三井住友銀行証券ファイナンス営業部)	1665 East Fourth Street Seymour, IN 47274 U.S.A. (東京都千代田区有楽町1丁目1番2号)	4,500	9.26
アイシンヨーロッパS A (常任代理人株式会社三井住友銀行証券ファイナンス営業部)	Avenue de L'Industrie21, Parc Industriel, B-1420 Braine-L'Alleud, BELGIUM (東京都千代田区有楽町1丁目1番2号)	4,500	9.26
全国共済農業協同組合連合会 (常任代理人日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	東京都千代田区平河町2丁目7番9号 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	2,040	4.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,930	3.97
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟	1,518	3.12
日野自動車株式会社	東京都日野市日野台3丁目1-1	1,271	2.61
ダイハツ工業株式会社	大阪府池田市ダイハツ町1-1	1,241	2.55
芭蕉会	大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1-1	883	1.81
計	-	29,728	61.17

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,612千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,930千株
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,518千株

2. 上記の所有株式数のうち、株式付与E S O Pに係る株式数は次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社	85千株
--------------------	------

3. ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピーから平成25年1月8日付の大量保有報告書(変更

報告書)の写しの送付があり、平成24年12月31日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けましたが、当社として当第2四半期会計期間末日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書(変更報告書)の内容は次のとおりであります。

大量保有者	ウェリントン・マネジメント・カンパニー・エルエルピー
住所	280 Congress Street, Boston MA 02210, U.S.A.
保有株券等の数	株式 1,941,416株
株券等保有割合	4.00%

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 589,300	859	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 47,980,400	479,804	-
単元未満株式	普通株式 24,036	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	48,593,736	-	-
総株主の議決権	-	480,663	-

(注)1.「完全議決権株式(自己株式等)」の欄には、当社所有の自己株式が503,400株、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与E S O P信託口)が所有する株式85,900株が含まれております。

2.「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株、議決権の数が6個含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(数)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社エクセディ	大阪府寝屋川市木田 元宮1丁目1番1号	503,400	85,900	589,300	1.21
計	-	503,400	85,900	589,300	1.21

(注)他人名義で所有している理由等

株式付与E S O P制度の信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社((株式付与E S O P信託口)東京都港区浜松町2丁目11番3号)が所有しております。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,664	29,778
受取手形及び売掛金	39,817	41,765
商品及び製品	11,012	10,728
仕掛品	4,972	4,581
原材料及び貯蔵品	8,952	9,195
繰延税金資産	3,140	3,517
短期貸付金	518	518
その他	3,745	4,152
貸倒引当金	102	122
流動資産合計	97,723	104,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,522	27,882
機械装置及び運搬具(純額)	33,345	40,641
土地	9,037	9,380
建設仮勘定	17,037	13,651
その他(純額)	4,645	5,629
有形固定資産合計	88,589	97,185
無形固定資産	3,074	3,811
投資その他の資産		
投資有価証券	2,949	3,559
長期貸付金	435	236
前払年金費用	-	666
繰延税金資産	1,927	1,683
その他	1,716	1,671
貸倒引当金	39	34
投資その他の資産合計	6,988	7,781
固定資産合計	98,652	108,779
資産合計	196,375	212,892

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,471	18,577
短期借入金	5,119	5,765
1年内償還予定の社債	66	8
未払費用	6,893	7,798
未払法人税等	2,684	3,185
製品保証引当金	417	433
その他	8,081	6,196
流動負債合計	38,734	41,963
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	7,903	10,374
長期未払金	652	501
繰延税金負債	2,085	2,340
退職給付引当金	3,938	3,890
資産除去債務	27	27
その他	322	382
固定負債合計	21,930	24,516
負債合計	60,664	66,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,284	8,284
資本剰余金	7,540	7,541
利益剰余金	116,914	121,424
自己株式	1,498	1,484
株主資本合計	131,241	135,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	736	1,017
為替換算調整勘定	5,135	239
その他の包括利益累計額合計	4,398	1,256
少数株主持分	8,868	9,389
純資産合計	135,710	146,412
負債純資産合計	196,375	212,892

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
売上高	102,206	113,198
売上原価	81,411	89,987
売上総利益	20,795	23,211
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,833	3,023
製品保証引当金繰入額	113	79
役員報酬及び給料手当	3,450	3,869
退職給付費用	40	18
研究開発費	2,045	2,143
その他	4,419	4,747
販売費及び一般管理費合計	12,902	13,844
営業利益	7,893	9,366
営業外収益		
受取利息	105	102
受取配当金	21	25
持分法による投資利益	53	82
為替差益	-	710
その他	296	322
営業外収益合計	476	1,243
営業外費用		
支払利息	224	315
社債利息	21	17
固定資産除売却損	29	80
為替差損	375	-
その他	203	149
営業外費用合計	855	563
経常利益	7,514	10,046
特別利益	-	-
特別損失		
投資有価証券評価損	169	-
特別損失合計	169	-
税金等調整前四半期純利益	7,344	10,046
法人税、住民税及び事業税	2,525	3,816
法人税等調整額	97	19
法人税等合計	2,427	3,836
少数株主損益調整前四半期純利益	4,917	6,210
少数株主利益	494	499
四半期純利益	4,422	5,710

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,917	6,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	280
為替換算調整勘定	62	6,436
持分法適用会社に対する持分相当額	-	4
その他の包括利益合計	164	6,721
四半期包括利益	4,752	12,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,173	11,365
少数株主に係る四半期包括利益	579	1,566

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,344	10,046
減価償却費	5,605	5,684
固定資産除売却損益(は益)	14	60
貸倒引当金の増減額(は減少)	9	6
退職給付引当金の増減額(は減少)	315	714
受取利息及び受取配当金	126	127
支払利息	246	333
売上債権の増減額(は増加)	1,270	19
たな卸資産の増減額(は増加)	961	2,439
仕入債務の増減額(は減少)	3,229	1,937
その他	72	1,987
小計	9,766	17,698
利息及び配当金の受取額	171	171
利息の支払額	264	334
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	1,903	3,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,770	14,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	14	44
定期預金の払戻による収入	7	36
有形固定資産の取得による支出	9,833	9,803
有形固定資産の売却による収入	28	306
無形固定資産の取得による支出	436	1,114
投資有価証券の取得による支出	10	6
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	100	-
関係会社株式の取得による支出	21	442
貸付けによる支出	76	5
貸付金の回収による収入	210	205
保険積立金の解約による収入	61	-
その他	386	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,597	10,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	922	1,178
長期借入れによる収入	638	1,988
長期借入金の返済による支出	795	1,448
社債の償還による支出	17	58
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	1,206	1,202
少数株主への配当金の支払額	377	577
少数株主からの払込みによる収入	9	-
リース債務の返済による支出	13	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	842	144
現金及び現金同等物に係る換算差額	221	909
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,891	4,101
現金及び現金同等物の期首残高	27,922	25,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,031	29,694

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の変更

第1四半期連結会計期間において、新たに設立したエクセディエンジニアリングアジアを持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形割引高	724百万円	1,143百万円
受取手形裏書譲渡高	11	5

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
現金及び預金勘定	25,122百万円	29,778百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	91	83
現金及び現金同等物	25,031	29,694

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	1,206	25.0	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(注)平成24年6月22日定時株主総会の決議に基づく配当金の総額には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与E S O P信託口・75467口)に対する配当金 2百万円を含んでおります。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月29日 取締役会	普通株式	1,206	25.0	平成24年9月30日	平成24年11月26日	利益剰余金

(注)平成24年10月29日取締役会の決議に基づく配当金の総額には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与E S O P信託口・75467口)に対する配当金 2百万円を含んでおります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

著しい変動がないため、記載していません。

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	1,202	25.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(注) 平成25年6月21日定時株主総会の決議に基づく配当金の総額には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与E S O P信託口・75467口）に対する配当金 2百万円を含んでおります。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月29日 取締役会	普通株式	1,202	25.0	平成25年9月30日	平成25年11月25日	利益剰余金

(注) 平成25年10月29日取締役会の決議に基づく配当金の総額には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与E S O P信託口・75467口）に対する配当金 2百万円を含んでおります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

著しい変動がないため、記載していません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日)

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)	合計 (百万円)
	MT (百万円)	AT (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	29,814	61,345	91,160	11,046	102,206
セグメント間の内部 売上高または振替高	119	1,026	1,145	3,640	4,786
計	29,934	62,371	92,306	14,687	106,993
セグメント利益	4,374	3,379	7,754	613	8,367

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日)

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)	合計 (百万円)
	MT (百万円)	AT (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	33,482	67,425	100,907	12,291	113,198
セグメント間の内部 売上高または振替高	156	1,250	1,406	3,660	5,067
計	33,639	68,675	102,314	15,951	118,266
セグメント利益又はセ グメント損失()	4,701	5,372	10,073	101	9,972

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械用駆動伝導装置事業、2輪用クラッチ事業、運送業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	前第2四半期連結累計期間 (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (百万円)
報告セグメント計	7,754	10,073
「その他」の区分の利益または損失()	613	101
セグメント間取引消去	92	87
のれんの償却額	60	4
全社費用(注)	537	614
その他	30	74
四半期連結財務諸表の営業利益	7,893	9,366

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新製品開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

各報告セグメントにおいて、該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (平成24年 4 月 1 日から 平成24年 9 月30日まで)	当第 2 四半期連結累計期間 (平成25年 4 月 1 日から 平成25年 9 月30日まで)
1 株当たり四半期純利益金額	91円83銭	118円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (百万円)	4,422	5,710
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (百万円)	4,422	5,710
普通株式の期中平均株式数 (千株)	48,164	48,001

- (注) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 . 普通株式の期中平均株式数は、自己名義所有株式分を控除する他、株式付与 E S O P 信託口が保有する自己株式 (前第 2 四半期連結会計期間末日現在 92,400 株、当第 2 四半期連結会計期間末日現在 85,900 株) を控除し算出しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年10月29日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額 1,202百万円
(2) 1 株当たりの金額 25円00銭
(3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年11月25日

(注) 平成25年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社エクセディ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 梅田 佳成 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 榎本 浩 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 義敬 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エクセディの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エクセディ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。